

和装の美 — 松園・清方・深水を中心に

会 期 2018年2月10日(土)～2018年3月21日(水・祝)

日本画の主要な画題として知られる、女性の美しさを描いた「美人画」は、室町時代の風俗画に端を発し、婦女子の衣装、容貌の美を捉える作品から浮世絵を経て、近代の女性像へと変化と発展を遂げてきました。なかでも、和装の女性像はたおやかな仕草や表情が広く好まれ、人々の憧れや時代の風俗を映す鏡として、多くの作品が描かれました。

本展覧会では、美人画家として名高い上村松園・鏑木清方・伊東深水を中心に、はんなりとした京美人から江戸の粋な女性の姿まで、さまざまな和装の女性を描いた作品を展覧し、日本画における格調高い和装表現の魅力をお楽しみいただくとともに、日本の伝統的な衣服である染織作品や和装にまつわる工芸品などをご紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開 館 時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)

会期中の休館日：2/13・19・26、3/5・12・19

観 覧 料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
- 和服割引(和服でお越しの方は、団体割引料金でご入館いただけます。)

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J・COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業

- ワークショップ「扇子に絵を描こう」 日本画家・上野瑞香 3/3、3/11 14:00～
- 学芸員による作品解説会 2/10、2/25、3/10、3/18 14:00～